

2017 / 冬 / No.105

来ぶらり

輝く 学生に注目!



～部活も勉強もがんばる
学生にインタビュー～



1階開架の美術系の本が置かれている場所によく行きます

普段の大学生生活について、お聞かせください

週5日間授業が入っているので、平日はほとんど毎日大学に来ています。あとは、美術史を専攻していることもあり美術館に行くのが好きで、火曜日は夜の部活までの間、美術館に足を運んでいることが多いです。

所属している団体・部活の入部のきっかけ

中学生・高校生の時から生徒会活動をしていたので、学習院大学に進学が決まった時に同じような活動ができないかなと思い、入所を決めました。

所属している団体・部活の活動内容について

日々の活動として、黎明会館宛の郵便物の処理・配達や、文房具等の貸出しを行っています。また、最近多い活動として、キャンパスツアーがあります。高校1・2年生の生徒さん40人程度(多いと100人越えるときも!)を対象に学内をご案内する活動です。授業の空き時間を利用して実施していますが、例えば9月末から1ヶ月間の間に17件も依頼が入っています。多い日だと1日3件ということもありますよ。他に、オープンキャンパスの事前準備や当日対応も行っています。

部活動の自慢(ここが好き、ここが大変)

キャンパスツアーで建物の説明をする際、登録有形文化財の話をする時「すごーい」という声がちらほら聞こえ、嬉しく感じます。また、自分が哲学科なのですが、個別相談で美術をやりたいという受験生の方がいらっしやると、嬉しくなって自分の知っていることをいくらで



3階の閲覧席をよく利用します

法学部政治学科 3年

静野 壮人さん

■ アメリカンフットボール部
(部員数約90名)

※プレイヤー約60名、スタッフは約30名

普段の大学生生活について、お聞かせください

授業が終わった後、部活動の練習があります。春、夏や冬はそれぞれ、長期の部活休みがあるのでその間に遊びに行ったり、リフレッシュしています。

所属している団体・部活の入部のきっかけ

高校まで厳しい野球部に所属していて、大学では、体育会には入らないでしようかと思っていました。結局、今までずっと体育会にいたので何となく自分の居場所はそこかなと思って、アメフト自体よく知らなかったんですが新歓がきっかけで入部を決めました。

所属している団体・部活の活動内容について

春の四大戦や12月のリーグ戦に向けて週5日、基本的に夕方5時半くらいから夜8時半くらいまで北グラウンドで練習しています。今年3部リーグでの全勝、2部リーグとの入れ替え戦を目指しています。アメフトの特徴は、それぞれのポジションで役割が違う点です。その役割ごとに、戦略と言うか、こういうプレーの時はこう動くというのが全部決まっています。その動きの練習をスタッフがビデオに撮ってくれて、それをみんなで見てこういう時はこう動くよねと練習後にミーティングで毎日確認します。

部活動の自慢(ここが好き、ここが大変)

楽しいところはやはりプレーがうまくいった時です。自分だけがうまくできてチームとしてうまくいかないという勝てない、相手から点が取れません。うまくいった時の一体感というか、みんなでできた達成感というのは、やってきてよかったなという喜びがあります。大変なところは、アメフトならではの各役割を誰か1人で全うできて

も喋ったりします。さらに言うと、男の子だったりするとよりやる気が出ます。哲学科の男子はすごく少ないので。自分が説明をした結果、哲学科に興味を持ってもらったり、保護者の方から「丁寧に話してもらってありがとうございました」などと言葉をいただくことがあると、とてもやりがいを感じますね。

普段の図書館利用の頻度、または本を読んでいるか

週に1回以上は必ず大学図書館に行きますし、哲学科の図書室を含めると、ほぼ毎日通っています。大学図書館に行く時は勉強する場所としてではなく、哲学や美術系の本を探しに行くことが多いです。目当てのものを予め決めているのではなく、棚を見てこの本は面白そうだなというふうに着いていきます。

オススメの本

敷居が高いように思える日本美術ですが、この本はとて読みやすいです。

『画題で読み解く日本の絵画』

佐藤晃子文；須山奈津希イラスト
山川出版社 2014.8
大学図・1F開架 721A/Sa85g



2階レファレンス・カウンターで資料検索の相談中

文学部

ドイツ語圏文化学科4年

猪瀬 藍さん

■ 音楽部
(部員数約150名)

普段の大学生生活について、お聞かせください

4年生なので、あまり授業は多く入っていませんが、ゼミの卒業研究に向けて準備を進めています。また、部活では演奏会に向けた練習をしています。

所属している団体・部活の入部のきっかけ

中学・高校で吹奏楽部に所属していたので、最初から大学でも音楽系の部活に入ろうと思っていました。入学後、いくつかの団体を見た上で一番雰囲気良くピンと来たのが音楽部でした。かれこれ10年ほど、トランペットを吹いています。

所属している団体・部活の活動内容について

年に7回ほど演奏会があり、そのうち大きなものが春と秋の2回の演奏会です。通常は週に3日練習があるのですが、演奏会近くになると週に4日練習が行われるようになります。

部活動の自慢(ここが好き、ここが大変)

まず音楽が大好きですし、一度も部活を辞めたいと思ったことはありません。

いないと、なかなかプレーが進まないというところでしょうか。1人だけが上手でも、いいプレーは生まれません。

普段の図書館利用の頻度、または本を読んでいるか

レポート作成やゼミの発表のため、月に2~3回法経図書センターを利用しています。試験期間は大学図書館の日曜開館を利用します。図書館で勉強して、トレーニングルームで体を動かしてからまた図書館に、というように過ごしています。

オススメの本

自分の時間を有意義に使う方法が色々書かれています。

『自分の時間』

アーノルド・ベネット著；渡部昇一訳・解説 新装新版
三笠書房 2016.5 所蔵なし



理学部数学科3年

山口 志由さん

■ 囲碁部
(部員数約30名)

普段の大学生生活について、お聞かせください

授業は多くはないので、時間に余裕があるほうです。

所属している団体・部活の入部のきっかけ

小学校の頃から、囲碁は一応知っているとくらいでしたが、大学では囲碁部に入ろうと思っていました。

所属している団体・部活の活動内容について

年2回の団体戦に向けて普段は週に1日、部活動日として部室に集

ません。辛いこともありましたが、共にかんがる仲間もいて何度も励まされてきました。また、何より演奏会終了後の達成感が何ともいえないですね。そのために練習をがんばっているというところもあるかと思えます。大変なこととしては、自分が後輩に対して指導する立場になった時に、自分よりも上手な後輩にどのように指導すればいいか非常に悩みました。自分なりに自主練習を重ねてスキルを高めたり、先生にパート練習の進め方を相談したりなどで乗り越えてきました。

普段の図書館利用の頻度、または本を読んでいるか

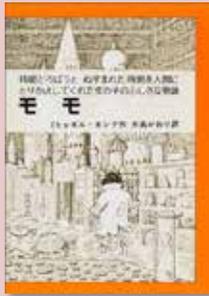
ほぼ毎日、図書館に通っています。2階のレファレンス・カウンターで資料検索の相談をすることもあります。自宅と学校を切り替えていて、大学に来たら勉強モードになってがんばっています。

オススメの本

前から気になっていた本でしたが、大学入学後に読んでみたところ、内容に非常に共感し、いろいろなことを考えさせられました。

『モモ：時間どろぼうと、ぬすまれた時間を人間にとりかえてくれた女の子のふしぎな物語』

ミヒヤエル・エンデ作；大島かおり訳
岩波書店 1976.9
大学図・書庫 943/87



2階のデータベース検索パソコンをよく利用します

経済学部経済学科3年

福村 真さん

■ 少林寺拳法部
(部員数約70名)

普段の大学生生活について、お聞かせください

就職活動の一環として、現在、企業のインターンシップに参加しています。また、週に3日ほど部活があるのと、所属しているゼミが今すごく忙しくて遊ぶ時間が全くない毎日を過ごしています(笑)。でも本当に充実しています!

所属している団体・部活の入部のきっかけ

最初は別の部への入部を希望していたのですが、当時の少林寺拳法部の主将がぜひ来なよと声をかけてくださって。先輩後輩の間の雰囲気がとてもよいのが決め手となり、入部しました。実は高校の時も少林寺拳法部に入っていました。県大会までいくかどうかという位で、今よりももっと弱かったです。当時の主将が大学から始められた方だったのでとても上手な方で感化されて、自分も練習をよ

まって囲碁を打っています。部活動日以外も誰かしら部室には集まっています。囲碁を打ったり話したりしています。団体戦は5人1組、みんな同時に並んで大学同士で対戦するのが最大の醍醐味です。5人の内3人勝ったチームが勝ちなので、2対2で最後の1人が対戦しているときはみんなで応援します。今は秋の大会の真っ最中で、最近、成績は結構いいです。僕が入った時は4部でしたが今は2部まで昇格し、今回も2部に残留できそうです。

部活動の自慢(ここが好き、ここが大変)

囲碁は上達を実感するのが楽しいですね。また、囲碁をやる仲間が集まって話している時も楽しいです。大変なのは、囲碁を初心者(後輩)に教える時です。囲碁はルールが複雑で、最初にルールを覚える時が一番難しいと言われていています。今年も去年も初心者が多く入部したので、彼らに囲碁のルールを教えるのが一番難しかったです。

普段の図書館利用の頻度、または本を読んでいるか

勉強や本を借りるために大学図書館をよく利用しています。自宅では勉強しないので、勉強場所は大学図書館3階のコンピュータ利用閲覧室です。空き時間には、講義とは関係ない数学に関する本を借りたりします。

オススメの本

パズル、特にルービックキューブが好きで見つけた本です。難しいですけど面白いですね。

『群論の味わい：置換群で解き明かすルービックキューブと15パズル』

David Joyner著；川辺治之訳
共立出版 2010.12
大学図・1F開架 411.6A/J85g



りがんばるようになりました。

所属している団体・部活の活動内容について

年に4回ほど大会があるので、それに向けて富士見会館の1階の道場で練習をしています。正規練習は週に3日ですが、自主練習をする場合は週に6日行うこともあります。部としては2、3年前は予選敗退となることも多かったのですが、最近は昨年度に関東学生新人大会で総合優勝したり、自分のことになってしまっていますが、数ヶ月前には都大会で1位を取りました。

部活動の自慢(ここが好き、ここが大変)

和気あいあいとしていて、部活に行くこと自体がとにかくとても楽しいです。高校の時と違って、大学では厳しい上下関係があまりないので楽しく練習しています。大変なところは、部員のモチベーションの違いに対応することでしょうか。大会で勝ちたい人もいますし、護身術目的に入部する女子もいますし、各人の目的にあった練習方法にしなければいけないので、部長として、一人ひとり面談してどのような練習がいいか話し合ったりしています。

普段の図書館利用の頻度、または本を読んでいるか

ゼミ発表の準備のために図書館に行くことがあります。主に東2号館の2階PC室を使用することが多いです。棕先生のゼミに所属し、国際貿易や国際経済学を勉強していて、今年の冬にはWEST(論文研究発表会)という大会にも出場する予定で、調べものなども多く行っています。ゼミ発表以外では、個人的な勉強のために週に2回以上は大学図書館に行きます。自分は本に書き込みしながら読みたいタイプなので、図書館で本を借りることはあまりないです。買うことが多いですね。

オススメの本

先輩から教えてもらって読んでみたら、おもしろかったです!自分の専攻にも関連していて、勉強になりました。

『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』

岩崎夏海著
新潮社 2015.12
大図・1F開架 Shincho/i125/1



学生展示のお知らせ

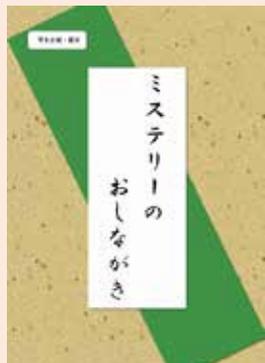
大学図書館1階の入退館ゲート正面に、展示スペースがあるのをご存知ですか？

当館所蔵資料を中心に、特定のテーマに沿った資料展示やパンフレットの配布を行っています。また、毎年秋から冬にかけて、公募に応じた学生が展示を手がけています。今年も12月に学生展示「美に耽る」を実施しています。たいへんな力作ですので、ぜひご覧になってください。

過去の学生展示目録(表紙)



平成24年度
震災の本、そして未来へ
～3.11を風化させないために～



平成25年度
ミステリーのおしながき



平成27年度
あのごろ
～子ども時代を本で振り返る～



平成28年度
雪を読む



私にとっての本棚

経済学部経営学科
教授
金田 直之先生

私にとって本棚というと、図書館を思い浮かべます。大学卒業後、大学院生時代も含めて日本や海外でいろいろな場所に住みましたが、その地域の図書館にはよく行きました。いろいろな書物があり、気軽に手に取ることができて、なかなか居心地のよい空間を提供してくれているように思います。たいていの場合、中央図書館と呼ばれる場所は週末なども混んでいて、座席の確保も難しかったりしますが、他の分館などに行くと割と簡単に座れることも多いです。どんな本が読まれていて、どんな人が利用し、あるいは働いているのか、その場において感じるのもなかなか楽しいものです。

数年前に米国テキサス州に滞在する機会があった時には、通常の本のほかにオンラインで見られるビデオがありました。あるいは、地元の図書館に最新式の自動貸出機が入っていたりと、なかなか興味深いです。住んでいる所、勤務先周辺の図書館だけでなく、隣接の区・市町村の図書館も利用可能のこともあり、なかなか利便性は高いです。

学習院大学で、よいことの一つは非常に充実した図書館があることです。少なくとも私の研究分野では法経図書センターでいろいろな資料が手に入ることが多く、その点は大変感謝しています。疲れたときは、大学図書館1階の「ベスト本」という毎年に推薦(?)された本を借りることが多いです。ほかの皆さんもこの充実した図書とサービスを利用して、知の空間で遊ばれるとよいなと思っています。



来ぶらり No.105 2017年12月15日

学習院大学図書館 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

発行責任者：石井晋教授 編集委員：内藤沙織・藤本智美

1階貸出・返却カウンター (内線 2397)：☎ 03-5992-1009(直通) 2階レファレンスカウンター (内線 2395・2396)：☎ 03-5992-9249(直通)

「来ぶらり」のバックナンバーは (<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/about/publication.html>) で公開しています。

ISSN 2186-6724